指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表　【 令和7年度分 】

施設名	荒神谷博物館・荒神谷史跡公園	施設所管課	文化財課
指定管理者	特定非営利活動法人 出雲学研究所	指定管理期間	令和3年04月01日　から 令和8年03月31日　まで

1．総合評価

市	【優れていると評価した点】 指定管理については適切な運営を実施しており、幅広い層に向けた展示の工夫はもとより、オリジナルの商品開発やワークショップ等の新企画、山陰インバウンド機構との連携協力など、利用層の拡大に向けて努力を行っている。施設及び公園管理についても、常に安全を保てるよう適切に管理している。
	【改善すべき点】 令和７年度は国宝展開催により大幅に利用者数が増加した。リピーターの定着に加え、利用者の拡大に向け、情報発信の手段や内容に工夫が必要である。現在もインターネットやチラシ等を通じて周知に努められているが、展示内容やその魅力が十分に伝わっているかを精査しながら、より多くの人に興味を持ってもらえるよう努めてほしい。
指定管理者	【優れていると評価した点】 国宝展の開催を県内外に広く周知したことから県外からの来館者が大きく増加し、10年ぶりに入館者が1万人を超えた。HPやFacebookを活用し展示やイベント情報を積極的に発信した。マスメディアへの情報提供や取材対応により適宜適切な情報発信に繋げることができた。来園者の安全確保を図るとともに、環境美化に努め好評をいただいた。
	【改善すべき点】 施設の老朽化(公園内施設特に遊具や古代復元住居）に伴う魅力低下（指定管理者では改善に限界あり）。古代体験等イベントの魅力アップによる集客の拡大。

2．施設利用について

総括	施設の立地場所や利用形態の観点から、利用者の安全確保に取り組んだ。特に獣害や危険昆虫が散見されたことから園内巡視を強化し、駆除や利用者への周知に努めた。施設利用者数については、歴博の休館や国宝展の開催もあって、博物館入館者が1万人を超えた。また、地域の歴史文化の学習の場の提供を目的に、講演会や講座を通年開催した。

⑴ 収支状況の推移（自主事業を含む）

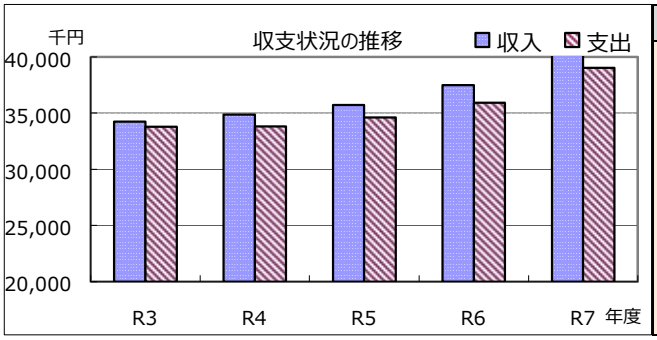
（単位：千円）

	項目	R3	R4	R5	R6	R7
施設の収支	収入	34,235	34,890	35,734	37,484	41,054
	うち指定管理料	30,350	30,210	31,420	31,420	31,600
	うち利用料	1,336	1,558	1,448	2,441	4,244
	その他	2,549	3,122	2,866	3,623	5,210
	支出	33,780	33,832	34,620	35,937	39,007
	差引	455	1,058	1,114	1,547	2,047

＜上記以外の市の収入、支出＞　（単位：千円）

	項目	R3	R4	R5	R6	R7
市の収支	収入（使用料）	334	517	495	636	655
	支出	2,742	4,554	1,831	5,545	2,800
	うち修繕費	2,230	2,022	244	4,746	1,553

※大規模修繕を除く

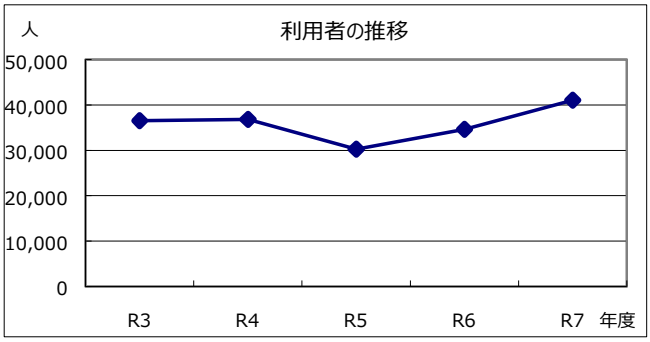


収入増・コスト削減に関する取組
・10カ月間の国宝展開催ではPRに努めた結果入館者が増加し、利用料の増加につながった。・マスメディアを活用した情報発信の機会を増やし広告料を軽減。・近年、古代米の委託販売（道の駅）が好調で、年度中途で売切れとなった。・HPの問合せフォームを活用した通販が拡大した。・施設等の維持管理において、極力職員で行うことで経費の節減を図った。（伐木、施設や機械器具の軽微な修繕等）

⑵ 利用者の推移

（単位：人）

利用者	R3	R4	R5	R6	R7
	36,569	36,807	30,269	34,612	41,053



利用者の増に向けた取組・利用の動向
・講演会や講座、ホール展示を年間を通じて開催し来館を促した。・マスメディアへの情報提供を通じて広く情報発信し集客に努めた。・HPを活用した団体申し込みやガイド申込により利用者の利便を図った。・公園利用者は10年前からは半減、博物館入館者はコロナ禍前まで回復してきた。・他団体利用によるイベント（斐川だんだんよさこい祭り、斐川ﾗﾝﾆﾝｸﾞﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ)受入れにより利用者の拡大が図れた。

⑶ 利用者アンケート

アンケートの実施状況
・アンケート総数：295(内職員の対応等に未回答22件あり）・アンケートは通年で実施した。アンケートの内容は常設展期間内は職員の対応や施設、展示についての設問、特別展・企画展開催期間は展示に関する設問を中心とした。展示については概ね満足いただける回答。施設では公園トイレの洋式化、クレジット決済の導入、照明施設等要望があった。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス			主な意見（問題点）・対応（効果）
273 件	①非常に良い	157 件	57.5 %	・北駐車場からの道路横断が危ない。・電子マネー、クレジット決済ができるとよい。・英語の説明が欲しい（→英語表記のパンフを渡している）。・展示室が暗い（→ライトの設置、スポットライトの使用）・展示説明のフリガナを増やしてほしい（→増やした）
	②良い	109 件	39.9 %	
	③ふつう	件	0.0 %	
	④悪い	6 件	2.2 %	
	⑤非常に悪い	1 件	0.4 %	

⑷ 住民サービス向上の取組・事例

・博物館ホールにて当地域で活動されているグループ等の作品を年間を通して展示するとともに、ギャラリートークも行った。
・ボランティアガイドの会と連携し遺跡の無料ガイドを行った。
・町内に赴任された教職員を対象とした、当地域の歴史文化に関する研修会を開催した。

３．自主事業について

総括	・学びの場の提供を目的に季節に応じたイベントや、毎月の講演会等に「青銅器発見40周年」を冠し開催した。公園を中心とするイベントでは、大雪のため中止した2月の餅つき会以外は提案したイベントすべてを開催し、総数約3,800名の参加があった。講演会、談義は毎月開催し年間約1,000人の受講者があった。・博物館のホール展示は似顔絵・写真・手作り模型や、時事課題を取り上げた展示を年間を通じ11回開催し約8500人の観覧があった。
実施状況	・講演会:12回（591人内ｵﾝﾗｲﾝ57人）・風土記談義：12回（401人）・ホール展示：11回（8,521人）・荒神谷こどもフェスタ：5/5（1,500人）・荒神谷古代ハスまつり：6/29（1,400人）・荒神谷古代体験まつり：10/5（450人）・クリスマスリース作り12/7(19人）・荒神谷古代もちつき会：2/8（大雪のため中止）・荒神谷椿まつり：3/15（400人）・ｼｮｯﾌﾟ運営

４．施設の維持管理・安全対策について

・安全できれいな公園環境を維持するため、園内の巡視を強化し危険木の伐木や除草作業、獣害対策や危険昆虫の駆除を行うとともに来園者へは都度注意喚起した。・老朽化した施設の修繕は優先順位をつけ市と協議後実施した。・令和7年6月1日施行の改正労働安全衛生規則の職場における熱中症対策の取り組み関して、対応ﾏﾆｭｱﾙを作成し職員、作業班、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｶﾞｲﾄﾞに周知するとともに、熱中指数計や熱中症対策用品を準備し取組んだ。

５．職員（従業員等）の接遇・研修について

・「カスタマーハラスメント」をテーマとした接遇研修を講師を招聘し開催した。また、常より職員にあいさつの励行、親切丁寧な対応を心がけるよう朝礼等で話している。・個人情報保護の研修会を実施した。・消防訓練で通報、初期消火、避難誘導の訓練と水消火器、ハロン消火設備の操作講習を行った。